



ルワンダで 義足をつくる

2025年6月27日（金）13:00-15:00

立命館大学国際平和ミュージアム2階 ピースコモンズ

ゲストスピーカー



ガテラ・ルダシングワ・エマニュエルさん

1954年、ルワンダ共和国生まれ。幼い頃、治療ミスのため右足が麻痺し、障害者の施設で育つ。1980年代、ルワンダの紛争を避けるためにケニアに逃れ、パートナーの吉田真美と出会う。1994年のルワンダ大虐殺終結後、ルワンダに戻り、1996年に真美と共にNGO ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクトを設立。首都キガリ市に義肢製作所を設け、義肢装具の製作、義肢装具士の育成、障害者スポーツの普及などの活動を進めている。



ルダシングワ真美さん

1963年神奈川県茅ヶ崎市生まれ。英語の専門学校卒業後、約6年間OLをする。1989年ケニア・ナイロビにあるスワヒリ語学校に半年間留学し、その後東アフリカを旅行中に、パートナーのガテラと出会い、ルワンダ大虐殺やルワンダの障害者の状況を知り、義肢装具士になることを決意。1992年より横浜の義肢製作所に弟子入りし、修業をする。1996年ガテラ氏と共にムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクトを設立。

コーディネーター

山本めゆ

（立命館大学文学部准教授）

司会

君島東彦

（立命館大学国際平和ミュージアム館長）

ルワンダ共和国では、1994年に100万人以上が殺される大虐殺が起こり、その際に多くの人が地雷や武器となった鉈・斧で手足を切断されました。現在でもルワンダでは、医療の不足や病気、交通事故のために手足を失い、国からの保障もないままに不自由な生活を余儀なくされる障害者が少なくありません。

NGO ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト（1996年設立）は、のべ1万2000人の下肢障害者に義肢装具・杖・車いすなどの提供活動をおこなってきました。今回の平和創造ワークショップでは、ガテラ・ルダシングワ・エマニュエルさんとルダシングワ真美さんのご夫婦をお迎えし、そのルワンダでの義足提供活動に関する貴重なお話を伺います。

予約不要
参加費無料

※ただし常設展示をご観覧の際には入館料が別途必要となります。
（立命館で学ぶ方・働く方は無料です）



立命館大学国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899
MAIL io1025-a@st.ritsumei.ac.jp（大月）